

はたちの君に

福井工業大学学長 掛下知行

皆さんが20歳になられましたことに当たり、学長として一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。皆さんは、この20年間、健康に気をつけ、しっかりと勉学やスポーツに励み、立派になりました。心よりお祝い申し上げます。これは、まず、第一に皆さんの努力が身を結んだことによりますが、同時に、これまで皆さんをいつくしみ育ててくださった、お父様、お母様、保護者の方々のおかげでもあります。今まで育てて頂いたことに改めて感謝してください。

20歳という年齢は、人生にとっても、非常に大事な節目となります。20歳前後というのは、人間の知力が最も充実する時期で、この時に学んだことは、知識の中核として頭の中へのこり、皆さんの今後の人生の糧になるものです。人間は生まれたときには、脳の重さはわずか約400グラム程度ですが、その後脳は驚くほどの速さで成長を続け、ほぼ20歳で1200グラムから1500グラムになって成長が完了すると言われています。20歳の君たちは、まさに大学において多くのことを学び、ものを考える力、判断力を身につけるには、最適の時期にいると言えます。

しかしながら、いまだ終息が見えない新型コロナウイルス感染対応策がなされているさなか、多くの戸惑いや心配を抱えていることと思います。安心してください。本学では、皆様の学びが安心してできるように、全教職員が「すべてを学生のために」というモットーのもとに、最善そして万全の教育研究の環境や学生生活の支援を整えております。ですので、皆様におかれましては、こうした状況だからこそ、先生や仲間とのコミュニケーションを大事にし、授業をよく聞いて、多くの質問しながら勉強をすることを切にお願いしたいと思います。コロナ禍において、コミュニケーションがすべての事案で、とても大事であることが、再確認と共に明瞭になったことは、皆様も経験されたことでしょう。是非皆様と一緒に頑張りましょう。

また、この3年間、日本においても、世界においても、社会の在り方や、人々の考え方は大きく変わりました。これまで当然のこととされていた、考え方、価値観や生活様式、教育、企業活動、社会活動などすべてが劇的に変化しつつあります。このようなことを「パラダイムシフト」と言います。皆様は人類の歴史上でも未曾有のパラダイムシフトの時に新たな道に進まれることとなります。

そのため将来に不安を感じておられるかもしれません。しかしながら、このパラダイムシフトの時期には人間にとって極めて有用な大きな変革を短期間で達成することが可能であり、皆様は正にそうした変革の担い手としてむしろ活躍することができます。今回コロナ禍の大きな変革に相当する課題として、具体的な例を挙げますと、コロナワクチン製造開発（m-RNA, 世界初、名前：カタリン・カリコ博士、ハンガリー生まれ）やAIそして5Gを含むネット社会の構築があげられます。これらの課題は、これまで培ってきた科学技術をもって日々努力がなされておりますが、まだまだ完全・完成とは言えません。この様子を考えますと、今述べた生命・情報分野においても、科学技術を学ばれる若い皆様に活躍の場が大きく開かれていることとなります。何も、今述べた生命・情報分野だけではなく、社会構造の大変化と連動を考慮すると、電気・機械・化学・原子力・土木・デザイン・経営・スポーツ等のすべての分野において当てはまります。ですので、コロナ下（With Corona）あるいはコロナ収束後の社会(Post Corona)に、就職関係をはじめ

多くの不安を感じておられるかもしれませんが、それは違っていることが解ると思います。何よりも、皆様は、至急に解決しなくてはならないコロナ問題をはじめ、それにより加速された非常に多くの未解決な問題（少子高齢化、SDGs で掲げられている課題）の露呈を、今まさにコロナ禍で、あらわに実体験で感じられていると思います。そのこと自体がとても重要です。

「災い転じて福となす」ということわざがありますように、人類の歴史において、Negative な状況を体験した者は、それが大きな原動力となり、Positive な結果を生むことは必然として知られるところです。しかも先に述べましたように短期間に結果が生まれます。例えば、360 年前に、ペストのため、2 年間にわたる疎開せざるを得なかったアイザック・ニュートン（その時は、1665 年から 1666 年、22 歳ぐらいです。この間を創造的休暇と呼びます、ケンブリッジ大学トリニティカレッジ）、疎開先で、「ニュートンの三大業績」とされる、「万有引力」「微積分学」「光学」の着想を得ます。皆様が習っている科目です（この時の疎開を創造的休暇として知られています。）。

また、シェークスピアがやはりペスト禍（疫病は 1603 年から 1604 年にかけて）において 3 大悲劇として知られているリア王を創作しています（ロミオとジュリエット、リア王、ハムレット）。ですので、皆様に置かれましては、コロナ禍のこの 2 年を無駄であったとするのではなく、心を positive に持つとともに、このコロナ禍の状況は、未解決な問題が際立って露呈し、今後の社会においてそれを解決する活躍の場が与えられたという認識、すなわち、絶好のチャンスが与えられたと認識を持つことが肝要かと思います。ある意味で、時代が皆様を必要としていると言っても過言ではなく、皆様の未来は明るいこととなります。

そのためにも、大学で習う科学技術に接続する基礎学問をしっかりと身に付けていただければと強く思います。

私の専門は、材料科学ですが、学問に関して心のよりどころとしている言葉をここに紹介したいと思います。それは、ノーベル賞を取られた朝永振一郎博士の言葉です（日本人として 2 番目の受賞者）。有名な言葉ですので皆様もご存知の方もいると思います。それは、「ふしぎだと思ふこと、これが科学の芽です。よく観察してたしかめ、そして考えること、これが科学の茎です。そうして最後になぞがとける、これが科学の花です。」（朝永振一郎 物理学者 ノーベル物理学賞 1906~1979）

とても短いのですが、問題提起（疑問）、学問そして創造力これに論文（発表）を的確に表しております。この言葉が、皆様の参考になればと思います。

今回の事態が収束した後は、日本も世界も、その在り様が間違いなく大きく変わります。その時に最も大きな力を発揮するのは、これまでのしがらみにとらわれない、柔軟な発想をもった若い皆様の行動力です。皆様にとって、これからは益々活躍の場が広がります。他人への思いやりと、責任感をもって、これからの社会を変えていくために頑張ってください。そのためにはそれぞれの分野での一層の勉強が必要となります。これまで以上に目的意識をもって、これからの福井を、これからの日本をそして世界を変えていくために勉学に励まれることを切に願います。

皆様の 20 歳に当たり、心からのエールを送り、私のお祝いの言葉とさせていただきます。